



かみさと

# 議会だより

平成28年3月

No. 70

■発行/上里町議会 ■編集/議会だより編集委員会 〒369-0392 埼玉県児玉郡上里町大字七本木5518番地 TEL.0495-35-1216(直) FAX.33-2429

## 全国大会に出場を決めた乾武神流川太鼓「鼓心」の ジュニアメンバー



# 乾武神流川太鼓

■乾武神流川太鼓は、中央公民館で開催された和太鼓教室の参加者が集い、平成3年9月に上里和太鼓クラブとして結成され、12月に乾武神流川太鼓に改名しました。会の名称は、昔、上里町が武蔵の国の乾の方角にあったことから乾武と呼ばれていたことと、神流川を組み合わせて名付けられました。来る3月20日(日)には、ジュニアチームが、大分県で行われる第18回日本太鼓ジュニアコンクールに埼玉県代表として出場します。



上里町マスコットキャラクター  
**こむぎっち**

### もくじ

12月定例会の審議状況	.....	P 2
一般質問	.....	P 3~10
委員会等のうごき	.....	P 11
3月定例会一般質問、議会日誌等	...	P 12





# 12月定例会

12月4日～11日

## 課設置条例の一部改正を可決 一般会計補正予算3664万円を追加

12月定例会は、12月4日に開会され、議員8名の一般質問と町長提出議案10件、意見書を審議して11日に閉会しました。定例会で審議された内容をお知らせします。

### 条例関係

- ◎上里町課設置条例の一部を改正する条例について  
○行政組織の見直しにより、消防・防災事務並びに生活環境事務を統合し、「くらし安全課」を新設するものです。  
現：16課↓新：17課  
※審議結果 原案可決
- ◎上里町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例について  
○被用者年金制度の一元化等を図るための厚生年金保険法等の一部改正に伴い、改正するものです。  
※審議結果 原案可決
- ◎上里町税条例等の一部を改正する条例について  
○地方税法の一部改正に伴い、改正するものです。  
※審議結果 原案可決
- ◎上里町国民健康保険条例の一部を改正する条例について  
○行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、改正するものです。  
※審議結果 原案可決
- ◎上里町介護保険条例の一部を改正する条例について  
○行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、改正するものです。  
※審議結果 原案可決
- ◎上里町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する条例について  
○行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の規定に基づくものです。  
※審議結果 原案可決

### 補正予算関係

◎27年度一般会計補正予算  
○歳入歳出それぞれ3664万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ87億800万1千円とするものです。主な歳出の補正内容は次のとおりです。

公共用地取得・管理事業	504万円
障害者福祉事業	3632万1千円
重度心身障害者医療費支給事業	686万5千円
介護保険事業	1657万6千円
道路新設改良事業	2374万円
上里スマートインターチェンジ整備事業	2295万9千円
上里ゴルフ場管理事業	928万5千円
農業振興事業	▲1億2000万円

### 意見書

◎この他に、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、水道事業会計の補正予算が提出され、原案のとおり可決されました。  
※審議結果 原案可決

◎地方単独事業に係る国保の減額調整措置の見直しを求める意見書について  
※審議結果 原案可決

# 一般質問



議席番号 5 番 齊藤 崇

## 問 多発している自然災害、町民の災害に対する意識高揚が不可欠

### 答 避難用マグネット付ステッカーを毎戸に配布は妙案

#### 1 各地で多発している自然災害について

(問) 近年では、地震だけでなく地球温暖化の影響で集中豪雨や爆弾低気圧など、記録的な災害が発生している。本町での避難所、防災マップ等は万全か。

(答) 現在、町では地震ハザードマップと洪水・内水ハザードマップがあり、既に毎戸配布している。上里町でもいつ災害が発生するかわからない。町では、万全な備えをもって防災対策を実施していきたい。

(問) 町では、年に一度「防災フェスティバル」を計画実施しているが、天候不良で中止になるケースが時々見受けられる。中止ではなく順延できないか。

(答) 延期して実施することについては、予備日を設定するなどして、消防団や自衛隊などと相談していきたい。

(問) 避難所は、各小中学校や公民館など計25カ所あるが、備品一覧を見て欠落している物があるか、また自家発電機、懐中電灯などは定期的に始動点検等実施しているか。

(答) 防災倉庫は、各小中学校に設置、備蓄については食料、毛布や救急箱、発電機など保管している。欠落しているものについては、順次揃えていきたい。飲料水については早急に補充します。また、定期的に防災倉庫の点検をし、災害発生時不備のないよう対応していく。発電機の始動試験も定期的に実施する。

(問) 町民の災害に対する意識調査を実施し、意識高揚を図ったと思うか。

(答) 災害についての意識調査は、平成27年7月に実施した町づくりアンケートの中で意識調査をしている。項目については、「防災への備えのため、どのようなことを実施しているか」で実



践している割合が高かったのは「防災備品の準備」、「避難所の確認」であった。また、意識調査については、総合振興計画の見直しの中で必要であれば、検討していきたい。

#### 2 町営住宅の今後について

(問) 老朽化が進む四ツ谷住宅について、少子高齢化、人口減少や税収減が予想されるが、町はどのように対応していくのか。

(答) 建物自体はまだ耐用年数の範囲内ですが、将来的には更新を検討しなくてはならない時期もくるが、住宅に困窮する低所得者に対して低廉な家賃で賃借することにより、生活の安定と社会福祉の増進に寄与する

ことを目的に設置されており、施策の変更については丁寧な議論が必要だ。

(問) 町営住宅に対する町民の認識、費用対効果は。

(答) 町民の認識については、意識調査やアンケート調査など実施したことはないが、広く理解していただくよう、その意義に従い適正な利用が促進され、また効率的な維持管理運営となるよう、今後も引き続き取り組んでいきたい。また、費用対効果という面からの評価は、非常に難しいと考える。過去3年間の入居者募集の応募状況では、平均で約3倍、空室期間もほとんど生じていないことから、役割を十分果たしていると考えられる。

# 一般質問



議席番号  
3 番 仲井 静子

## 問 地域の実情に応じた効果的・効率的な健康寿命延伸の取り組みについて

### 答 現在、上里町健康づくり推進総合計画を策定中

#### 1 地域の実情に応じた効果的・効率的な健康寿命延伸の取り組みについて

(問) 県は、高齢化の進展により、健康不安を感じる人が増えることを予測し、対策として県民の誰もが毎日健康でいきいきと暮らせ、健康寿命の延伸と医療費の抑制を図る取り組みとして、健康長寿埼玉プロジェクトを平成24年度から推進している。平均寿命と健康寿命との差を縮小することができれば、個人の生活の質の低下を防ぐとともに社会保障負担の軽減も期待できるのでは。

(答) 様々な機会を利用し健康づくりの知識の啓発を行ない、既存の事業も取り込みながら、健康づくりの推進ができる総合的な事業展開が必要。現在、上里町健康づくり推進総合計画を策定中。健康づくりを支援できる仕組みに取り組みしたい。



ちよつくら健康体操

(問) 新聞の報道では、インフルエンザワクチンの成分が変わり、製造原価が上がったため、接種費用が値上がり、流行が本格化する前の値上げで接種を控える人が出るのはないかと心配されている。高齢者にとっては、命に関わる問題であり、町の対応は。

(答) 町では、高齢者の定期インフルエンザ予防接種費用が、平成26年度より1件につき540円値上がり、その差額は町負担であり、従来どおり1000円の自己負担で接種できる。

#### 2 人口減少社会の少子化対策について

(問) 今なぜ、ワークライフバランスか。その背景には、少子高齢化、人口減少、経済のグローバル化など、この状況を打破するため、国も県も自治体も本腰をいれている。少子化対策というのは、産むとか産まないとかといった女性だけの問題ではなく、男性の働き方の見直しや育児参画など、男性の問題として取り組むべき問題では。

(答) ワークライフバランスが実現することで、一人ひとりが望む生き方ができる社会となり、社会の活力が上昇することによって、少子化・人口減少の解決策にも繋がると思われる。しかし、現実

は仕事と生活の両立で悩みを抱える人が多く、男女の役割分担意識がまだ根強く、男性の家事や育児参画が不足。第2次かみさと男女共同参画推進プランを策定し、男女が家庭を大切にしながら仕事と育児などを両立できるように環境を整えることを目的の一つに掲げている。今後、男性職員の育児に関する意識の向上、各種制度の周知等、育児休業がとりやすい職場環境を築いていく。

(問) 近年、核家族化、近所付き合いが希薄になったこともあり、子育ての悩みを周囲に相談できない親が確実に増えているのでは。家庭における孤立感と負担感を軽減するため、各学区にある児童館を利用して、児童のいない時間帯を子育て支援センターとして活用しては。

(答) 児童館については、子育て支援としての有効活用を検討し、悩

みや不安を抱える親子のサポートを充実させたい。地方創生総合戦略において、子育て支援を大きな柱とし各事業の見直し、環境整備に取り組み。

(問) 子育て世代は、インターネット世代であり、子育て世代の目線を重視し、子育て世代がどんな情報を欲しがっているのか、そのニーズを把握した確かな情報発信を。

(答) 子育てに関する総合的で見やすいホームページ整備などを行い、積極的な情報提供をしていく。

(問) 女性が主体的に活躍できる社会づくりについて。

(答) 各委員会、審議委員の女性の登用率は、平成26年度17.2%、平成27年度19.4%。女性の登用に

ついて、引き続き積極的に働きかけを行い、女性が主体的に活躍できる社会を目指していきます。

# 一般質問



議席番号  
6番 岩田 智教

## 問 本庄道路の計画について

### 答 片側二車線の四車線の道路、騒音対策や忍保川の氾濫防止も考えます

1 本庄道路(上里から本庄につながるバイパス道路)について

(問)本庄道路は、歩行者が安全に通行できるように、適切な幅の歩道も整備する計画ですが、道路の形状と、今年以降の予定について。

(答)今年度の工事計画は、昨年度の橋脚工事3基に引き続き、橋脚4基の工事を実施いたします。神流川橋については、現在の国道17号と一部重複して設置し上り線側を先行して整備し、現在の神流川橋を撤去後、残り2車線の工事を行う予定です。本庄道路は完成時に4車線となります。

(問)円滑な交通の流れを確保するため、本庄道路は交差点の少ない道路にしたいと考えているようです。交差方法と現在国道

17号方面から烏川方面への南北に走る町道は、何本ぐらい使用不能になるのか、教えていただきたい。また、BOX(トンネル)の道路の幅員を、将来拡張されるか。

(答)本庄道路の計画は、1mから2mの低盛土構造を基本に、円滑な交通の流れを確保するため、交差方法は平面交差が計画されました。地元住民の生活に影響が及ぼさない計画を要望しましたが、計画ルートには忍保川や高圧鉄塔などがあり、平面交差、横断BOX、左折接続箇所には制約があったようです。その結果、本庄道路により影響を受ける19本の町道は、平面交差が4カ所、横断BOXが5カ所、歩行者・自転車専用横断BOXが1カ所となりました。残り9本のうち、左折接続が3カ所で、残りの道

路については本庄道路に直接乗り入れはできませんが、平行して設ける道路等を利用して横断することが可能です。横断BOXの幅員ですが、計画に見合った幅員とし、それ以外は現道幅員となっております。

(問)河川等の氾濫が起きた場合、盛土斜面が氾濫水の下流への排水を妨げることにならないよう、十分検討する。また、4年ほど前の集中豪雨で、忍保川が増水し、氾濫しかけたことがあります。本庄道路の建設で、雨水が忍保川に流れ込むため、土手を高くする、または遊水池をつくるなど、増水に対処する計画はあるのでしょうか。

(答)本庄道路の計画で大きな問題が雨水排水です。平成23年度の流末協議時に、国に対し、本庄道路ができることに

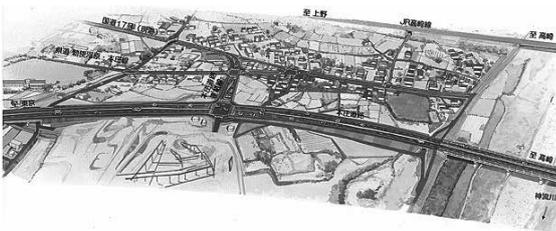
より、雨水流抑制機能を保つよう要望し、国は現在の流末排水量を把握し、現況水路に負荷がかからないように貯留施設を設ける検討が進められております。

(問)平成42年の交通量が1日、29200台、44000台と予測され、建設工事の騒音や工事後は計画道路に近接している小学校、保育園での騒音が心配されます。騒音対策、遮音壁の設置がなされるのか。

(答)本庄道路の環境影響評価については、埼玉県が事業者に代わって実施し、指摘のあった環境大臣の意見では、道路交通騒音並びに建設機械の稼働による騒音に関して適切な処置を講じることを求めています。道路交通騒音に関して、一部区間において遮音壁の設置を、

また建設機械の稼働による騒音に関して、一部区間で仮囲いの設置や低音型建設機械の採用、作業方法の配慮をすることとなっております。

※その他、インフルエンザの流行と対策についての質問を行いました。



本庄道路イメージ図(大宮国道事務所HPより)

# 一般質問



議席番号  
4 番 猪岡 壽

## 問 空き家バンク制度の導入について

### 答 近隣市町と連携して取り組んでいく

#### 1 空き家対策について

**(問)**町の空き家件数は、平成23年の区長さんの調査で171件であった。その後、平成27年3月定例議会の同僚議員の一般質問の回答では、約200件との回答であるが、その後の推移について町で把握しているのか。把握しているのであれば、地区別に回答願いたい。

**(答)**平成27年11月現在の町の地区別空き家件数は、賀美地区21件、長幡地区28件、七本木地区65件、神保原地区100件で合計214件である。

**(問)**平成27年6月に203件であったが、半年の間に11件も増加し、さらに老人世帯が増えている状況では、今後ますます空き家が増えると予測されるが、町長の見解は如何か。

**(答)**現在把握している214件については、土地建物台帳に明記して管理しているが、今後は、実態調査をもっと細かくし管理していく。

**(問)**空き家管理条例を徹底することも大事だが、空き家を減らすことが一番大事なことであり、町として空き家バンクを設けて減らしていくべきと思うが。

**(答)**空き家バンクの設置については、関係市町の担当課長が集まり、県との間で事業を進めるにあたり、検討事項をまとめていくようである。

**(問)**現在、町営住宅入居率が3.1倍であると聞いたが、空き家を町営住宅に使うのも一つの方法ではないか。

**(答)**空き家を少し補修して、町営住宅代わりにするこ

とは難しいことであるが、地権者の意見や空き家バンク制度を進める中で検討課題とした。

**(問)**空き家を知的障害者のグループホームや作業場、障害のある方が制作したものを販売する場所としてのニーズもあるが。



#### 2 全国学力テストの結果について

**(答)**知的障害者の作業場等に利用できるか、今後検討したい。

**(問)**10月10日の新聞紙上に全国学力テストの県内の44市町村別正答率の記事が載っていた。このうち、9市町が今年度新たに公表し、その中に上里町も含まれていたが、今回公表した理由について。

**(答)教育長**今回公表した理由は、学力は学校での学習だけではなく、家庭での学習や生活状況が密接に関連している結果が調査に表れているので、学校の教育指導の充実や学習状況の改善には、保護者の理解と協力が不可欠と考え公表した。

**(問)**来年度以降も公表するか。本庄市などは、正答率だけではなく独自の分析を加えたものをホームページで公表しているが。

**(答)教育長**町でも調査結果を分析しながら、学習状況、生活状況等も含め、町のホームページに公表する準備を進めている。

**(問)**公表された科目別平均正答率を見ると、中学生の理科が54点で44市町中、5位以内の成績であったが感想は。

**(答)教育長**中学の理科の正答率が良かった理由としては、「全国学力学習状況調査の中で「理科の勉強は好きですか」の質問に、理科が好きかな生徒が上里町の中学生は、全国平均より多かったのが要因の一つと思う。

# 一般質問



議席番号  
2番 戸矢 隆光

## 問 防犯対策の一環として防犯カメラの積極的設置を

### 答

防犯カメラの効果を検討すると共に、人が集まるような施設に設置可能か検討したい

### 1 平成28年度事業について

**(問)**今の社会情勢を見ると町の防犯対策の一環として、町の要所要所に防犯カメラを積極的に設置してもいいのではないか。不審者対策や行方不明者、高齢者の認知症の足取り捜索など、将来にわたり幅広く利用できるのでは。

**(答)**現在、埼玉県の補助事業を利用し町内の各小中学校に6箇所、神保原駅周辺に北口1箇所、南口2箇所に設置。防犯カメラの効果を検討すると共に公民館や保育園、幼稚園などの人が集まるような施設に設置可能か検討したい。町としては、補助事業と並行し、いろいろな角度から防犯の町づくりに取り組みたい。

**(問)**防犯カメラが、要所要所であれば比較的に見つけやすいのではないかと。前向きに設置をしたらどうか。

**(答)**プライバシーなどの問題もあり、今後は、パトロール隊の皆さんや区長の皆様の話を聞きながら、本庄警察署とも相談をしながら設置箇所を指定していきたい。

**(問)**今まで他の市町村と文化やスポーツを通じた交流に積極的に取り組むことが少なかったように思う。スポーツ交流は、年代別対抗戦などすぐにでも出来るのではないかと。文化交流は、町指定文化財の各神社の獅子舞保存会や東音頭、各地で演奏されている乾武神流川太鼓、八十八夜の踊りなど多くの文化が残っており、これらの文化を他の地域へ、他の地域から上

里町へ出向いてもらい、ふだん地元での地域では見ることのできない他の地域の文化に出会い、交流をする事業であり、他の地域と色々な分野での相互交流が深まるのではないかと。

**(答)**相互交流は、文化の継承発展や人的交流、スポーツの活性化などで大きなメリットがあり、地域のきずなづくりやコミュニティの形成や生涯学習の推進上からも意義がある。現在、スポーツに関しては、郡や県をまたいで親睦大会や交流大会が行われている。有形文化財の交流は、郡内で行っており今後も行うか検討をしている。無形文化財は、他の地域の貴重な団体に出演を要請することも考えられますが、単発で行っても効果が薄く継続されなければ真価

は発揮されないと考えており、将来的に双方で交流を目指すのであれば相手となる団体や自治体との支援が必要であり、地域の範囲や関係する部署など今後、研究をしてみたい。

**(問)**地域間交流が盛んになれば、災害等いろんな面で相手が困ってればこちらからも出向くなどに発展する地域交流もいいのでは。

**(答)**地域間交流から生み出される協定が一番いいのではないかと考え、今後の課題としたい。

**(問)**若い人が育たないといった団体もあるが、刺激や勉強になるのでは。意見交換などもいいのではないかと。

**(答)**活動の状況を交流の一

つの起爆剤とするのは、大変重要なことと思う。

**(問)**町には多くの先輩や先人が各地域で活躍をされており、故郷に頻りに訪れることも出来ずに、いつも故郷のことが頭から離れないのではないかと。町の広報や刊行物を送料代込みで宅配が出来たら、故郷を色々な理由で後にした人にビッグなプレゼントになるのでは。

**(答)**町外にいる故郷とする方々で要望がある場合、案内を各種窓口・広報やホームページ等に掲載し、郵送することを検討してみたい。



# 一般質問



議席番号 11番 沓澤 幸子

## 問 高齢者世帯等の家電や粗大ゴミの運び出し支援を

## 答 高齢化に伴い、生活支援体制の整備が急務と痛感

### 1 7/11問題について

(問)①持ち込みができない高齢者世帯等の使用済み家電の回収について。②剪定枝を家電回収のように年何回か回収し、チップ化して焼却を減らすこと。③高齢者世帯等、粗大ゴミのリクエストをしても運び出しが困難です。東京都日野市では業者が運び出してくれています。

(答)家電はイベント回収時に、粗大ゴミの持ち出しも、区長、班長、民生委員、児童委員のご協力をいただけないかと話し合っています。高齢化に伴い、生活支援体制の整備が急務と痛感している。剪定枝のチップ化は受入側の体制調整が必要で、前向きに広域圏にて検討したい。

(問)④5Rの推進や自治体の分別回収と併せ、商品販売店にお返しするリタインのPRを。⑤神奈川

県葉山町や寒川市、東京都日野市では木箱や段ボールコンポストなど、手軽で衛生面からも利用価値が高い処理方法を実施しており、町も取り入れて補助を復活させては。⑥少人数世帯では指定ゴミ袋が大きすぎます。その他の透明袋も認めるよう広域圏で検討を。⑦ゴミ減量に関心がある住民に、ゴミゼロサポーターを募っては。

(答)大型スーパーなど買った所へ資源を返却することは、行政負担が軽減することで歓迎すべきです。コンポストは研究し、いいものであるなら取り入れていく必要もあると思う。ゴミ袋は広域圏で相談させて頂く。ゴミゼロサポーターは、PRや指導の充実を狙っていると思うが、町、リサイクル団体、大手スーパーの各取り組みについて、今後多くの機会を捉え、民間と協力したPRを行い意識の醸成を誘導したい。



ダンボールコンポスト

### 2 国民健康保険について

(問)国の低所得支援を一般会計の繰り入れ減に回さないで、保険料の引き下げを。短期保険証及び資格証明書は、早めの相談をするようメッセージを添えて保険証を郵送し、相談しやすくしては。

(答)当町の支援額は1800万円になる。しかし、調定に対し約

26%が収入未済で、実質赤字も約1億あり、引き下げは難しい。ご来庁願っているのは、負担能力の確認と納税相談の機会を確保するため。今後も滞納者の経済的、社会的事情をお聞きし、証明書を保険証に切り替えることも見極めたい。

### 3 マイナンバー制度について

(問)全ての国民が強制的に付番され、今後個人番号の保管や携帯が必要になります。年金機構からの個人情報流出など、100%情報漏えいを防ぐことは不可能です。盗難や紛失、不正取得やカード偽造、なりすまし犯罪の危険などのリスクを上回る利便性は何か。

(答)マイナンバー制度は、個人情報分散管理することで茅づる式の情報漏えいを防止していきま。申請等の手続きに必要とされた不足書類などによってマイナンバーを用いることが、住民の利便性向上につながっていきます。

(問)企業では、従業員の個人番号の管理が求められていますが、町内業者の実態は「番号通知」の誤配や自治体の記載ミスなど、自治体の準備体制も、国民の理解も不十分な中での導入は、振り込め詐欺を越える犯罪の危険が予想されます。慌てた導入を延期し見直すよう国に求めること。

(答)番号法では、情報を漏えいした場合の罰則も規定されており、事業者は施設可能な書棚の用意や適正な管理体制を整備する必要があります。町内事業者の対応整備状況は把握できていません。制度の延期や廃止を訴えることは、法定受託事務であることから、望ましくないと考えていますが、通知カードの発送遅れや誤配、国民や民間事業者への制度説明の周知が不十分であることは確かであり、国の責任で対応して頂きたいと考えています。

※5Rとは、リフューズ…ごみになるものを断る リデュース…ごみを発生させない リユース…繰り返し使う リペア…修理して使う リサイクル…再生利用する

# 一般質問



議席番号  
1 番 飯塚 賢治

## 問 大型商業施設内における期日前投票所の設置について

### 答 国の行動を見ながら考えていきたい

#### 1 若者を初めとする有権者の投票率向上の取り組みについて

(問) 18歳新有権者や若い人達への投票PRはどのように行うのか。

(答: 選管委員長) 若者に対する啓発事業として、有権者ノートを成人式の時に配布している。また、「私たちが拓く日本の未来」は、全国の高校に配布されており、町の選挙管理委員会にも届いている。これを利用しながら、町の広報やホームページ等で啓発記事に掲載するようお願いしたい。

(問) 大型商業施設内における期日前投票所の設置は、ネットワークの構築等、共通課題をクリアできれば実施可能なのでは。

(答: 選管委員長) 現在、国が投票率向上の研修会を行っており、その中で選挙人名簿

対象のオンライン化、期日前投票所の環境改善などを取り上げているので、国の動向を見ながら考えてまいりたい。

(問) 歩行困難のため投票を諦めている方々へ巡回バスで投票所まで送迎するなど、きめ細かい対策を。

(答: 選管委員長) 町が、現在運行予定の新コミュニティバスを利用しての投票所への運行については、運行する台数、運行時間、料金などの課題がある。町と相談させていただいて考えてまいりたい。



#### 2 自治体における子育て応援アプリの推進について

(問) スマートフォンを活用して、時間や場所にとらわれず、気軽に子育て支援に関する情報を取得するアプリの製作について。

(答) 開発導入費や導入後、新型携帯端末に対応するための費用など、導入してからのランニングコストや保護者がアプリをダウンロードしてからの使いやすさなど、普及率の向上などが問題となる。今後、導入した自治体の例を参考にしながら研究したい。

(問) アプリ開発とランニングコストがかかることは、理解できる。現在、運用している町のホームページを利用しての子育て支援に関する情報のニーズに応えることについて。

(答) 子育てに関する専用のホームページを整備している自治体が増えている。出産から子育てまでの情報を一つにしてわかりやすく発信することとは、少子化対策につながると思う。情報発信の面から、出産、子育てしやすい環境を整えるよう、今後とも検討したい。

#### 3 障害者差別解消法の施行に向けた取り組みについて

(問) 障害者に優しい町をつくり上げるため、差別を解消するための支援措置について、また、合理的配慮をどのように取り組んでいくのか。

(答) 児玉郡市共同での障害者差別解消支援地域協議会の設立を検討している。また、すべての分野の事業者が対象と

なっていることから、職員や事業者への周知、啓発活動を実施したい。合理的配慮では、公共施設のスロープの設置、障害者用トイレの設備整備などのバリアフリー化が進んでいる。また、講演会などでは、手話通訳者の派遣を行い、選挙の投票所では点字器を設置する配慮を実施している。今後でもできる限り行なっていきたい。具体的には、聴覚障害者への意志疎通の手段として筆談できるよう、電子メモパッドの配備や障害者が災害時などにスムーズに助けを求められるよう災害用バンダナの作成を検討している。町庁舎の障害者駐車場を埼玉県と障害者団体との協働で青色塗装を実施した。今後は、他の公共施設についても検討したい。

# 一般質問



議席番号  
10番 新井 實

## 問 漏水音を探知できる漏水発見器の導入について

**答** 今後は、東京水道サービスの漏水発見器を使用した検査も検討

### 1 上下水道の管理と運営について

**(問)**漏水音を高精度探知できる漏水発見器の導入について。

**(答)**漏水に関しては、平成26年度の有収率は下げ止まっているものの、74.36%と低迷している。漏水の発見方法に関しては、効果的な方法を思案しているが、今後は東京水道サービスの漏水発見器を使用した検査も検討し、漏水の発見効率の向上や有収率の改善に努めたい。

**(問)**上下水道の民間企業への一括委託について。

**(答)**上下水道事業については、民間委託が可能な業務は、近隣市町と同規模の

事業体の状況を見守りながら、将来に向けた安定した事業継続のため、一括委託についても勉強していきたい。

### 2 会計検査院調査について

**(問)**全国の公立小中学校の校舎や設備の点検状況を会計検査院が調べたところ、法律で定められた建築点検を行っていない学校が多数あったことについて。

**(答)**教育委員会では、児童・生徒の安全安心な学習環境の確保を図るため、老朽化等による危険状況を回避すべく、建物の維持管理や現在実施している法定点検を継続的に実施していきます。



上里中学校体育館(改築中)

### 3 熊谷殺害事件の注意喚起について

**(問)**熊谷市で9月に3件で6人が殺害された事件を巡り、県警や市からの注意喚起や情報提供についての対応は。

**(答)**熊谷市での連続殺害事件は、大変痛ましい事件

であり、警察の対応について議論がなされており、情報共有の面での住民に対する対応が問われています。町では現在、事件や行方不明者等の防災無線を使用しているの周知については、本庄警察署からの依頼により放送しているところであり、連携をとっています。

### 4 複式簿記導入に備えて

**(問)**複式簿記の導入に備え、公認会計士の任期付き職員採用について。

**(答)**町では、会計処理にあたっては、期末一括処理方法により、財務諸表を作成することを念頭に置いていることから、当面は、自治人材開発センター等の

研修を受講しながら、町職員の財務スキルの向上により、円滑な新制度の導入に対応できると考えています。

### 5 公共政策を考えることについて

**(問)**人口減少化での予算編成と財政運営について。

**(答)**今後、国の示す中期財政フレームや各種方針、戦略などに沿った形での財政運営を心がけ、社会保障経費と投資的経費のバランスと共に、高齢者世代及び子育て世代の負担と受益のバランスを考慮しながら、住民の皆さんの付託に応えられるように努めていきます。

# 委員会等のうらぎ

## 議会運営委員会視察研修

平成27年11月25日、26日の2日間、和歌山県串本町の「防災対策について」視察研修を実施しました。串本町は、紀伊山地を背にして、台風銀座と呼称され台風等の天気予報でお馴染みの「潮岬」が雄大な太平洋に突き出した、本州最南端の町です。面積は、135.8km<sup>2</sup>で、その内80.5%が森林となっていてます。気候は、黒潮の恵みを受けて年間平均気温17度前後といたって温暖です。人口は、平成27年3月現在17,482人で、産業は漁業と観光の町です。

串本町は、過去6回の大地震・津波で4,613人の死者・不明者を出しており、地震・津波の防災対策は、(1)避難関係施設及び整備



計画で、①津波避難タワー4基設置、②津波避難整備で113路線の整備。(2)一時避難場所数、①津波避難場所215箇所、②避難タワー・避難ビル等13箇所。(3)指定避難場所数、①災害時指定避難所48箇所。(4)防災拠点施設等、①防災広場総面積20,510m<sup>2</sup>、避難用

テント用地177張分7,580m<sup>2</sup>、備蓄倉庫496.8m<sup>2</sup>、トイレ設置1か所、仮設トイレ設置用地13基分52m<sup>2</sup>、耐震性貯水槽40t、ヘリポート離発着場1,000m<sup>2</sup>、ヘリポート2,100m<sup>2</sup>、取付道路916m<sup>2</sup>延長85mを社会資本整備総合交付金で整備したとのこと。また、その他の防災対策として、(5)防災知識の普及・啓発。(6)自主防災組織。(7)備蓄物資。(8)災害時要援護者(要支援者)避難支援対策。(9)気象警報・地震対策・災害時の組織、職員の動員等。(10)情報の収集及び伝達・報告等々、串本町の防災対策・対策計画と実施マニュアルは、現時点での自治体活動の最先端をいっていると思われ、上里町の今後の防災計画と対策に役立てていこうと考えております。



## 児玉郡町議会議員後期研修

平成28年2月4日に神川町役場会議室で、『埼玉県北部地域と地方創生』という演題で、上里町出身の埼玉りそな産業経済振興財団主席研究員の萩原淳司氏に講演をしていただいた。

現在、埼玉県は充実した交通網により、人口720万人(全国5位)一人当たりの雇

用者報酬467万円(全国7位)県民総生産20兆円(全国5位)、災害発生リスクが少ない魅力ある県であること。しかし、これからの日本は、少子高齢化、人口減少で生活の低下や女性、高齢者、若者が活躍できない社会になるかも。医療・介護の増加で、財政破綻の危険が高まる。それに備え、各自治体が将来の人口減少、人口の移動、年齢別の構成人口を考えた方策を講じる必要がある。働く場の確保に企業誘致をしても、医療設備の充実、子弟の学習環境、交通の利便性が前提で、誘致後は、正規社員は東京や県南から、現地

採用は、非正規雇用が現実。ある地域で土地開発をし、マンション建設をしたが、一時的に人口増は見込めても、その子どもの世代まで永住するのは難しい。逆に人口減に備え定住自立圏構想(中心となる市を中心に、協定を結び医療・福祉・教育の強化、確保)をしている地域もある。

また、北部地区の人口減少を食い止めるには、それぞれ町の差があるので、それに合わせた制度設計を計画しなければならぬということでした。



# 議会日誌

## 12月

- 4日 12月定例会初日 開会、町長の行政報告、一般質問
- 8日 一般質問
- 9日 全員協議会
- 9日 議案審議(条例等、補正予算)
- 11日 12月定例会最終日
- 20日 上里スマートインターチェンジ開通式
- 21日 児玉郡市広域市町村圏組合議会

## 1月

- 1日 元旦歩け走ろう会
- 10日 上里町消防団・署出初め式
- 10日 上里町成人式
- 13日 埼玉県・市町村議会議長新年懇談会
- 13日 こだま青年会議所新年名刺交換会
- 20日 上里町商工会賀詞交歓会
- 20日 全員協議会
- 22日 児玉郡町村会賀詞交歓会

## 2月

- 4日 議会だより編集委員会
- 4日 児玉郡町議会議員後期研修会
- 5日 児玉工業団地工業会賀詞交歓会
- 10日 埼玉県町村長・正副議長合同研修会
- 15日 本庄上里学校給食組合議会
- 18日 議会運営委員会
- 22日 商工会、法人会、青色申告会合同研修会
- 23日 児玉郡市広域市町村圏組合議会
- 26日 埼玉県町村議会議長会定期総会

# 平成28年第1回(3月)定例会一般質問一覧

順序	議席番号	氏名	質問の要旨
4日 (金)	1 5番	齊藤 崇	1 町の人口減少と超高齢化について
	2 3番	仲井 静子	1 コミュニティバス運行の利用者へのサービス向上について 2 上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略について
	3 9番	納谷 克俊	1 道路整備と雨水排水対策について 2 農村公園整備事業について
	4 14番	植原 育雄	1 上里町のマイナンバー制度について 2 上里町の水道事業について 3 上里町の交通安全対策について
7日 (月)	5 11番	沓澤 幸子	1 子育て支援について 2 介護保険の現状について
	6 1番	飯塚 賢治	1 魅力ある学校づくりについて 2 通学路の見直しと整備について 3 町公式ホームページのリニューアルについて
	7 2番	戸矢 隆光	1 上里町総合振興計画について 2 子どもの虐待について
	8 4番	猪岡 壽	1 スマートインター周辺の道路整備について 2 ふるさと納税制度について 3 こむぎっちを利用した町のPRについて 4 町の純資産額の算定について
	9 10番	新井 實	1 「子育て世代包括支援センター」設立の必要性について 2 手話言語条例の制定について 3 教科書謝礼問題について 4 橋の溶接不良について 5 再生可能エネルギーを利用した発電設備の導入について
	10 7番	植井 敏夫	1 児童館の利用について 2 人口減少について 3 自然との共生について

## 3月定例会を傍聴しませんか

定例会は、3月4日(金)に開会の予定です。  
なお、一般質問は4日(金)、7日(月)の2日間を  
予定しています。(開議時間：午前9時～)

●お問い合わせは議会事務局へ  
電話 35-1216 (直通)

次回、6月定例会の日程等は、5月下旬に町ホームページ・  
facebook等に掲載しますので、ご確認ください。

※町のホームページで一般質問の録画映像を配信しています。  
<http://www.town.kamisato.saitama.jp>

委員		副委員長	委員長	議会だより編集委員会
岩田智教	新井 實			
沓澤幸子	高橋 仁	飯塚賢治	戸矢隆光	

昨年末から今年にかけての長期にわたる天気予報は、暖冬とのことで、昼間の温度は3月や4月中旬の温度に上がった日も多くあり、作付けしてある野菜の収穫は当初の予定よりも数週間早くなりました。しかし、朝晩は零度やそれ以下になる日も多くなり、ついついコタツの猫になってしまします。特に低気圧が襲来したときには、敏感に冬を感じた我が家の温水器の水道ホースは破損となり、自然とは、すごいものであると改めて感じました。議会16期生も、あと少しで2年の折り返しになります。3月議会は28年度当初予算の審議になり、新規事業がいくつ出てくるのか楽しみです。

## 編集後記

